

きょうの夕飯を作るのはどっち？

—もし、夫婦共働きだったら、帰宅したときに部屋に灯っている明かりを見て、あなたは「ほっ」としますか。「はっ」としますか。

この質問に対し、少し前までは「男性は仕事優先、女性は家庭優先」という性別役割分担意識から、男性は「帰ったら夕飯ができて」と「ほっ」とし、女性は「早く夕飯を作らなくては」と「はっ」とすると回答する割合が多かったようです。

令和2年版厚生労働白書によると、男性雇用者世帯のうち、共働き世帯の割合は66.2%となっています。専業主婦世帯より共働き世帯が多い現代では、夫婦間の理想的な家事・育児分担比率は「夫5：妻5」だといわれています。しかし、内閣府の家事・育児分担比率の調査では「夫1：妻9」という回答が31.6%で最も多く、次に「夫2：妻8」が24%、「夫0：妻10」という回答も9.6%あったと発表されており、実



際は女性の家事負担が大きいことが分かります。

また、家庭の中だけでなく、男性が育児休業を取得すると驚かれたり、出張や残業が多い部署に女性を配置しにくいと感じている人がいたりするなど、まだまだ「男性は仕事優先、女性は家庭優先」という意識が根強く残っているようです。

私の家庭も夫婦共働きです。最近「どっちが夕飯をつくらうか」「洗濯しておこうか」と声を掛け合うことが増えました。家事分担について、夫婦で意見がぶつかることもありますが、話し合いをしながら夫婦間のバランスが取れてきたように感じています。帰宅した時に部屋に灯っている明かりを見て、お互いに「ほっ」とできるような、そんな家庭を築いていきたいと思



主郭に建つ愛宕神社



北からの鳴尾山 (山頂が鳴尾山城跡)



▼問合せ 郷土資料館 (☎235992)
鳴尾山城は、野間川と加古川の合流地点の南西にある鳴尾山の北端山頂(標高176m、平地との比高約110m)に築かれた山城です。山頂の主郭には、愛宕神社があり、主郭とそれを囲む副郭が確認できる小規模な山城です。南の尾根筋を除いて険しい地形に築かれており、草木に覆われていますが、石積みも確認できます。城主や城史は明らかではありませんが、戦国時代末に築かれたと思われる。北は重春地区をはじめとする市内を一望でき、西は芳田地区への入り口が見渡せる交通の要衝であることからそれらを監視する重要な拠点だったと考えられます。

ふるさとの魅力再発見ーにしわき歴史探訪

市長からの手紙

—西脇を元気に!!—



カードの普及促進に向けて、企業にも協力を依頼

「マイナンバーカード」暮らしやすい社会のために
「全ての人がデジタル化のメリットを享受できる暮らしの実現」を目指し、デジタル田園都市国家構想基本方針が今年6月上旬に閣議決定され、マイナンバーカードの普及促進について、国や県から強く指摘がありました。5月末時点の西脇市民へのマイナンバーカード交付率は、県下41市町の中で40位。最下位ではないものの下から2番目でした。7月の上京時には、西脇市を



西脇市長 片山象三

ご存じの総務省の方から指摘があり、県の上層部の方からは、直々に交付率アップの依頼がありました。その後、「普及率に応じて地方交付税に差をつける」と国の方針が発表され、大きな衝撃を受けました。交付税の減額は、市民の皆さまに対するサービスに大きく影響します。カードは保険証としても使えますが、10月からはマイナンバー保険証を使った方が受診時の窓口負担が下がるよう制度が改正されます。また、①確定申告などの行政手続きがオンラインで可能、②各種証明書がコンビニで24時間、遠方でも取得できる、③児童手当などの申請が簡単にできるなど、カードを持つメリットがどんどん増えています。職員がご希望の場所へ訪問し、写真の撮影も含めて申請や交付手続きのサポートをさせていただきます。ぜひ、あなたのために「マイナンバーカード」を作りましょう。

みんなでまちづくりー市民の皆さんのまちづくり活動ー
ひとが生き生き! まちが生き生き!
笑顔あふれるTUMAの里を目指して

津万地区自治協議会は「多世代が交流を深めながら活動をとらに行き、人がつながり地域が元気になる」というコンセプトのもと、事業に取り組んでいます。



5月に開催した「TUMALシェ」のように、みんなの家「あじさい」を拠点とした多世代の交流やコミュニティの活性化を図るイベントの開催はもちろんのこと、地域住民が安心して暮らせるよう、子どもや高齢者の見守り活動にも重点を置いていきます。



また、各種団体と課題、問題を相互に共有し、協力、連携することで活動を進展させ、課題解決につなげます。

西脇の自然 582

マルバルコウ

ひるがお科



北アメリカ原産の外来植物で、江戸時代に観賞用として輸入されました。同じひるがお科のルコウソウは、切れ込みの深い葉が特徴ですが、マルバルコウは名前のとおり、葉がアサガオのように丸い形をしています。

堤防の草むらには必ずといっていいほど繁茂しており、8月後半から10月にかけて、朱色でラッパ状の花を咲かせ、殺風景な草むらに色を添えてくれます。堤防には他にもアメリカアサガオ、ホシアサガオなど、つる性の帰化植物がきれいな花を咲かせています。ウォーキングをされるときなどに立ち止まって、野生の花の美しさを鑑賞されてはいかがでしょうか。

【西脇市動植物生態調査研究グループ】